

日本映画の黄金時代、

2024.2.22 (木)

～ 25 (日)

令和5年度
優秀映画鑑賞推進事業

忘れじのスターたち

— 高倉健・石原裕次郎・市川雷蔵・森雅之 —

年々機会が少なくなっているフィルム上映によるスクリーンでの鑑賞体験を通して、映画保存への理解を深めていただくことを目的に実施している「優秀映画鑑賞推進事業」。国立映画アーカイブ所蔵の35mmフィルムで今回ご覧いただくのは、日本映画の黄金時代に人々を魅了したスターたちの代表作です。日活・大映・東映といった撮影所を舞台に活躍し、時代を超えて愛されるスターたちの競演をお楽しみください。

鑑賞料金 一般 500円 小・中学生 250円 (企画展観覧料含む)

※鑑賞料金は、優秀映画鑑賞推進事業観覧料規定によるものです。



① 浮雲 1955年/東宝/白黒/35mm/123分

監督：成瀬巳喜男 原作：林芙美子 脚色：水木洋子
出演：森雅之、高峰秀子、岡田茉莉子、山形勲、中北千枝子、加東大介、千石規子

戦時中に外地で関係をもった男女が、戦後になっても関係を断ち切れずに離れられない様を描いた日本映画史に残る名作。小津安二郎をして「オレにはできないシャシン」と言わしめた。女にだらしのない男を演じる森雅之の名演が光る。



② 嵐を呼ぶ男 1957年/日活/カラー/35mm/100分

監督・原作・脚本：井上梅次 脚本：西島大
出演：石原裕次郎、北原三枝、金子信雄、芦川いづみ、白木マリ、岡田真澄、安部徹

実兄・石原慎太郎の小説を映画化した『太陽の季節』で鮮烈なデビューを飾った石原裕次郎が、“歌う映画スター”としての地位を決定的にした記念碑的作品。流しのジャズ・ドラマーが成功を夢見る姿を描き出し、主題歌とともに大ヒットした。



③ 眠狂四郎殺法帖 1963年/大映京都/カラー/35mm/81分

監督：田中徳三 原作：柴田錬三郎 脚本：星川清司
出演：市川雷蔵、中村玉緒、城健三朗(若山富三郎)、小林勝彦、沢村宗之助

市川雷蔵の代名詞ともなった「眠狂四郎」シリーズ第1作。ころびバテレンと武士の娘の間に生まれた混血児という出生の秘密を抱え、虚無と孤独の影を背負う剣士を雷蔵が端正な魅力で演じた。同シリーズは1969年まで計12本が作られた。



④ 網走番外地 1965年/東映東京/白黒/35mm/91分

監督・脚色：石井輝男 原作：伊藤一
出演：高倉健、南原宏治、丹波哲郎、嵐寛寿郎、安部徹、待田京介、田中邦衛

任侠・やくざ映画で時代の寵児となった高倉健を主演に企画された「網走番外地」シリーズ第1作。当初は低予算の白黒映画だったが作品の人気とともにカラーに移行、1972年まで計18作が作られた。同名の主題歌は放送禁止曲の指定を受けるも大ヒットした。

上映スケジュール

2月22日(木)

10:30～ ①『浮雲』

14:00～ ②『嵐を呼ぶ男』

2月23日(金・祝)

10:30～ ③『眠狂四郎殺法帖』

14:00～ ④『網走番外地』

2月24日(土)

10:30～ ②『嵐を呼ぶ男』

14:00～ ③『眠狂四郎殺法帖』

2月25日(日)

10:30～ ④『網走番外地』

14:00～ ①『浮雲』 + 上映解説

※上映作品について
学芸員が解説します。

チケット発売日

2024
1月13日(土)

チケットは、
鎌倉市川喜多映画記念館
受付窓口にて販売します。

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12
TEL:0467-23-2500
https://kamakura-kawakita.org



主催：川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)/国立映画アーカイブ
特別協力：文化庁/一般社団法人日本映画製作者連盟
/全国興行生活衛生同業組合連合会/東映株式会社/
東宝株式会社